

研究の経過と概要

1. 研究テーマ

「子どもが生き生きと学ぶ生活科」
～地域とのかかわりを生かした活動を通して～

東山梨地区生活科教育研究部会では、県のテーマを受けて、一昨年度より、地域とのかかわりを生かした活動を研究している。県の目指す方向性の一つである、「身近な自然や人々、社会とかかわる価値ある活動や体験」に重点を置いて研究・実践を進めている。

生活科の学習は、児童が自分とのかかわりの中で、身近な人々、社会及び自然に直接働きかけ、また、働き返されるという双方向の活動をめぐって展開される。子どもたちを取り巻く環境は時代の流れとともに変化し、地域の社会や自然と直接かかわることも少なくなってきた。また、人と人とのかかわりが希薄化していることも大きな課題である。身近な人々、社会及び自然とのかかわりを生かした活動を仕組み、子どもたちの新たな気づきを促すことで、子どもたちはたくさんの疑問や驚きを発見し、生き生きと学ぶことができると考えこのテーマを設定した。

2. 研究の具体的な内容と方法について

- 地域とのかかわりを生かした活動についての情報交換を行い、授業実践に生かす。
- 授業研究を通して「子どもが生き生きと学ぶ生活科」について研究を深める。
- 講師を招聘しての学習会や臨地研修を通して実践力を高める。

3. 生活科部会年間計画

回	月 日	内 容	研 究 成 果
1	5月10日(水)	・役員、授業者の決定 ・研究テーマについて	共同授業研究や実践紹介等を通して研究を進めていくことを確認した。
	5月13日(土)	春季県教研	
2	5月24日(水)	・春季県教研の還流報告 ・今年度の研究について	今年度の研究の方向性及び具体的な内容を確認し、年間の見通しをもつことができた。
3	6月14日(水)	・今年度の研究の確認 実践紹介 2名 「新学習指導要領について」 「昔からの遊びを楽しもう」	新学習指導要領における評価の新観点、スタートカリキュラム、地域素材を生かした学びなどについて学ぶことができた。また、世代を超えた遊びの

			実施は大切だが、人材の確保など課題があることも分かった。
4	7月31日(月)	夏季学習会 ・臨地研修 「自然観察の実践」	金川の森を歩き、自然の中での体験活動を行った。インタープリターカーの活動についても学んだ。今後の授業実践に生かせる内容であった。
5	8月30日(水)	研究授業案検討 ・「いろやかたちたくさん 見つけた」 ～あきとあそぼう～	繰り返し自然とかかわることで気付きを深めていく必要があること、季節の変化に気付かせることの大切さなどが話し合われた。
6	9月20日(水)	秋季教研 ・実践紹介 1名 「発見! 町へとびだそう」 ・秋季県教研に向けて ・研究授業案検討	実践紹介では、地域の人々との触れあいを大切にした実践が報告された。 県教研に提出するレポートについて話し合った。また、研究授業の指導案検討も行った。
10月28日(土)・29日(日) 秋季県教研			
7	11月29日(水)	・授業研究 ・県秋季教研の還流報告	
8	1月10日(水)	・実践紹介 3名	
9	2月7日(水)	・学習会予定	
10	2月14日(水)	冬季教研 ・今年度の成果と課題	

4. 共同研究者

指導・助言	中村 裕司 (塩山南小)
部長	中村 悦美 (加納岩小)
副部長	田邊 珠紀 (東雲小)
部員	柳澤 晴子 藤井 理奈 邊土名 仁美 (加納岩小) 丸山 英子 (山梨小) 山下 史江 (祝小) 平山 沙織 (松里小) 田邊 真由美 (玉宮小)

第2学年生活科授業案

甲州市立松里小学校 平山沙織

1 単元名 「わたしのすてきが はばたく」

内容（9）自分の成長

2 単元の目標

自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったことや、自分のできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

3 単元について

児童にとって、日常の中で自分自身の成長を実感できる機会は少ない。また、できるようになったことに気付くことができても、その過程や周りの人のかかわりがあることについては、あまり自覚していないことが多いと考えられる。

本単元では、自分自身のことについて、できるようになったこと、大きくなったこと、家庭や学校で役割が増えたことなどを具体的な活動を通して、成長を感じることができるようにならしていきたい。

互いのよさを見付け合ったり、自分自身の成長過程における事柄について友だちと伝え合ったりする活動を通して、児童が自分の成長に少しずつ目を向け、様々な視点で自分のよさを見出していくことを期待している。また、自分自身を知る上で、家族や地域の人々にインタビューをしたり、思い出の品や場所に触れ合ったりする活動へもつなげていきたい。

児童が自分の成長を実感することは、更なる成長を願う心にもつながっていくと考える。そして、それぞれに目標を持ち、努力したり、挑戦したり、主体的にかかわったりするなど意欲的に活動する姿となって現れてくることを願っている。児童がこれからの自分の成長に希望をもち、意欲的に生活することは、自立への基礎を養う上で大きな意義をもっていると考える。

4 児童について

2年生の児童は、男子12（1）名、女子6名、計18（19）名である。生活科の学習に関するアンケートでは、生活科の学習がすき（18名）だいたいすき（1名）と回答している。

また、好きな内容については、複数回答で、料理（8名）、野菜や花の栽培（6名）、おも

ちゃ作り（5名）、町探険（3名）、公園で遊ぶ（2名）、グループ活動（2名）、絵日記を書く（1名）、自然の観察（1名）が挙げられた。また、発表、生き物の観察、虫を育てる、絵日記を書くことを苦手だと回答した児童がそれぞれ1名ずついた。

これまでの生活科の学習の様子からも、学習を楽しみにしていたり、意欲的に活動したりする姿が見られる。一方で、継続的な内容や調べる活動では、とりくみの状況に個人差があり、課題と感ずることがあった。今回の単元では、それぞれの家庭の状況に配慮しながらも、全員が自分の考えをもちながら最後までとりくむことができるようにしていきたい。

5 評価規準

生活への関心・意欲・態度	○自分自身の成長に関心をもち、これまでの生活や成長を支えてくれた人々へ感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。
活動や体験についての思考・表現	○自分自身の成長を振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々、これからの成長について考え、自分なりに表現している。
身近な環境や自分についての気付き	○多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、自分のよさや可能性に気付いている。

6 指導と評価の計画（生活科14時間＋学級活動1時間）




小単元名	主な学習活動	評価規準	評価方法
1 わたしのすてきをはばたく（2時間） ＋ 帰りの会でのとりくみ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分や友だちのすてきを見つけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のイラストを見て、気が付いたことを発表する。また、「すてき」という言葉の意味を考える。 ・2学期のとりくみ「ほめほめタイム」を思い出しながら、自分や友だちのすてきをカードに書くことを知る。 (1時間＋帰りの会) ・友だちや自分のすてきを知る。 (1時間) 	<p>【関】 いろいろな視点で自分や友だちのすてきを見付けようとしている。</p> <p>【思】 自分や友だちのすてきなところをカードに書き表している。</p> <p>【気】 自分や友だちのすてきなところに気付いている。</p>	<p>教師との対話</p> <p>付箋</p> <p>発言記述</p>






<p>2 今までの すてきを 集めよう (6時間) + 学級活動 (1時間) + 家庭での とりくみ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分自身の成長を振り返り,必要な事柄を集め,自分の表現したい方法でまとめる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の頃の出来事を,写真や製作物などを見て振り返る。 (1時間) ・ 自分の思い出や,その思い出に関わる人について考える。 (1時間) ・ もっと詳しく知るための方法について考え,計画を立てる。 (1時間) ・ 調べたことをもとに,まとめたみたい方法を決めて表現する。 (3時間) <p>※「おへそのひみつ」という授業を養護教諭とT.T.でおこなう。 (授業参観1時間)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分自身の成長を振り返り,必要な事柄を集め,自分の表現したい方法でまとめる。</p> </div> <p>【関】成長を振り返るために必要な手がかりを見つけたり,集めたりしようとしている。</p> <p>【思】自分の生活や成長について振り返り,自分なりの方法で表している。</p> <p>【気】自分の成長を支えてくれた人々の存在に気付いている。</p>	<p>行動観察 記述 制作物 発表 記述</p>
<p>3 わたしの すてきを 発表しよう (3時間)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>わたしのすてきを発表しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表会の計画を立てる。 ・ 発表会に向けての練習をする。 (1時間) ・ 発表会をする。 感想を交流する。 (2時間) 	<p>【関】自分の成長に関心をもち,伝え合おうとしている。</p> <p>【思】何を伝えたいかを考え,伝えたいことを選んでいく。</p> <p>【気】自分や友だちが成長していることに気付いている。</p>	<p>発表 行動観察 発表</p>
<p>4 すてきな 3年生に なろう (3時間)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3年生の学習や生活の様子を見たり,インタビューしたりして,これからの生活への意欲や期待感,自分なりの目標をもつようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年教室を見せてもらったり,インタビューをしたりして3年生の様子を知る。(1時間) ・ 調べて分かったことをワークシートに書き,発表する。 (1時間) 	<p>【関】3年生での学習や生活に関心や期待を持ち,意欲的に調べようとしている。</p> <p>【思】3年生になったらできるようになりたいことを考えている。</p>	<p>行動観察 発表 記述 発表 記述</p>

	・3年生になったらやってみたいことや、できるようになりたいことを考える。(1時間)	【気】3年生に向かって、よりよく成長しようとする自分の気持ちに気付いている。	
--	---	--	--

7 本時の学習指導案

- (1) 日時 平成29年2月8日(水) 14:00~14:45 (5校時)
- (2) 場所 甲州市立松里小学校 2年教室
- (3) 本時の目標
友だちのよいところを知るとともに、自分のよいところに気付くことができる。
- (4) 本時の展開 (2時間目/全14時間+学級活動1時間)

	○主な学習活動	□指導上の留意点 ■評価
つかむ	<p>○これまでの学習でのとりくみを振り返り、今日のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">友だちや自分のすてきを知ろう</div> <p>学級における「すてき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いいところ ・とくぎ ・がんばっているところ ・心のとくちよう ・ほめてあげたいところ ・自分でできること ・成長 ・すごいところ 	
3分		
活動する ①	<p>○友だちや自分のすてきを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すてきクイズ」をして、友だちや自分のすてきを知る。 	<p>□話すときのポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気よく最後まで <p>□聞くときのポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりまでしっかりと 

20分		<p>■友だちの発表を聞きながら，誰のすてきかを見付けようとしている。 (関)</p>
活動する ②	<p>○書きためた「すてきカード」を，友だちにプレゼントする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの机にある画用紙に，自分が書いたカードを貼る。 <p>○自分のすてきを読む。</p> 	<p>□貼り付ける行動自体に時間がかからないようにさせる。</p> <p>□担任もカードを用意して一緒に活動する。</p> <p>□児童が書いた自分のカードも貼る。 (水色)</p> 
まとめ 10分	<p>○カードを読んで，気が付いたことや思ったことを書く。</p> <p>○学習の感想を書く。</p> 	<p>■友だちからもらったカードを読み，自分のよさに気付くことができる。 (気)</p> 

(5) 評価について

A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C Bに達しない児童に対する支援
友だちの意見を受け入れながら，いろいろな視点で自分のよさに気付いている。	自分のよさに気付いている。	特に印象に残ったカードを選ばせ，感想を書かせる。

(6) 本時の授業での資料

① 「すてきクイズ」

- ・子どもたちが書きためてきたカードから、普段のかかわりや内容を考慮して選ぶ。
- ・出題者が思う「すてき」であることを確認する。
- ・自分が思う友だちを、さっと示す。

出題者の名前
いつも したが はやくて
いいと思います。
このすてきはだれでしょう。
答え (さん)

出題者の名前
たくさん本を読んでいる
ところがいいと思います。
このすてきは だれでしょう。
答え (さん)

② 児童の記述

「すてきカード」を読んで、気がついたことや思ったことを書きましょう。

- ・自分には、こんなにすてきがあったなんて、びっくりしました。自分では、二つか三つしかないと思っていました。だけど、こんなにあるとうれしいです。
自分では、「友だちとなかよくたのしくあそんでいて、自分のいけんばかりじゃなくて、友だちのいけんもきいてあそんでいるところ」と書いている。友だちからのカードには、「字がきれい」「あやとびのれんしゅうをしているところ」「やさしくておもしろい」「絵が上手」「いつも元気」などが書かれている。友だちの意見を素直に受け取って、自分自身のよさを感じている記述である。
- ・自分の知らないいいところが、みんなからとどいてうれしかったです。自分のカードとくらべるとほとんど同じでした。
自分では、「字がていねいなところをがんばっている。」と書いている。友だちからのカードには「黒ばんをきれいにできるところ」「勉強をあきらめないところ」「いつも休まないところ」などが書かれていて、この中に自分では知らないことが書かれていたと思われる。後半の「ほとんど同じ」というのは、5人の友だちが字の丁寧さや上手なことを挙げていて、その書き方と自分が書いたカードが、ほとんど同じであることを記述したと思われる。
- ・みんなみんなわたしを、大じに思っている人だと思いました。
書いてあるカードの内容は大切ではあるが、この児童の記述からは、みんなが自分のために書いてくれたことへの思いが感じられる。

評価について

- ・友だちから届いたカードを読んで、新たに自分のよさに気が付いた児童や、自分のよさを再確認できた児童がいる。
- ・気が付いたことと・思ったことを合わせて問いにしているため、自分のよさに対する気付きではなく、書いてくれたことへの思いを感じる記述をしている児童がいた。視点を明確にし

て、児童に問うべきであった。

8 研究協議

(1) 授業者より

- ・この授業だけでなく、これまでのとりくみの中で、自分も友だちも大切にしてほしいという願いをもって授業をおこなってきた。毎日のとりくみを通して、友だちのよさを見つけたり自分のよさを伝えてもらったりすることで、一人ひとりのよさを考えるよい機会になった。
- ・「すてき」という言葉は子どもたちから出た意見をまとめたが、意味が似ているところがある。子どもたちとその都度確認をして、クラスの共通認識をもつようにしてきた。「人とかかわる」という視点も提示できればよかった。
- ・ワークシートのねらいが不明確になってしまっていた。

(2) 討議

- ・「すてき」という言葉を分類したことで、子どもたちの視点が明確になっていた。本時では、「成長」という言葉も加わり子どもたちの中で広がりが見られた。
- ・友だちのすてきカードに「～してくれてうれしかった。」や「～さんに～してあげていた。」という表現をする児童もいたので、人とかかわりもなされている。
- ・帰りの会でのとりくみが生かされていた。時間をかけてじっくりとりくんだ成果が見られた。
- ・自己肯定感の低い児童もいるという実態であったが、本時（本単元）は自己肯定感の高まりがもてる内容であった。
- ・クラスの雰囲気がとても温かく、教師の言葉や児童の言葉の一つ一つにも温かさを感じられた。
- ・授業を通して児童の思いが膨らんでいたため、ワークシートはスムーズに書くことができていた。
- ・「すてきクイズ」では、どの子もいい表情で活動していた。子どものつぶやきを拾ったり、教師の問い直しがあつたりするとより深まりが期待できる。評価にも生かせるのではないか。
- ・ワークシートは、気付いたことと思つたことを分けて書くようにすると、ここから評価ができる。

(3) 指導・助言

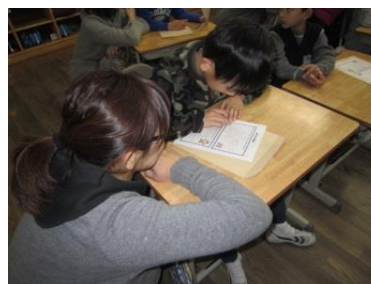
- ・本時の授業では、子どもたちの前向きに学んでいる姿が見られた。生活科における、主体的・対話的で深い学びを取り入れるにはどのようにしていくかを意識した授業をめざしてほしい。
- ・評価については、「友だちの話をしっかり聞いて認め合う」「友だちの成長を認める」という視点を持つと、生活科での2年間の学びの深まりが期待できる。

資料 学習の様子

1 養護教諭とのT.T.



お母さんのお腹の中で赤ちゃんが育っていく様子を知る。



手紙を読む。

養護教諭と担任のT.T.で「おへそのひみつ」という授業をした。おへそはどんな役目をしていたのかを考えたり，命の始まりの大きさや赤ちゃんが育っていく様子について学んだりした。赤ちゃん人形だっこ体験には，保護者にも参加していただいた。子どもたち一人ひとりが，自分が生まれたときの家族の様子や気持ちを書いていた手紙を読んだ。子どもたちは，真剣に読んでいた。授業参観の後の部会では，保護者にも友だちからももらった「すてきカード」を読んでいただいた。

2 今までのすてきを あつめよう

1年生の頃の学校での出来事を，写真や制作物を提示して振り返った。

- ・1年生のころの自分と今の自分をくらべて，ちょっとかわったということが分かりました。
- ・できることがふえてうれしい。
- ・今は，字がうまくなってうれしいです。2年生になると二じゅうとびもできました。せも大きくなってうれしいです。
- ・1年生のときは，わすれものがいっぱいあったけど，2年生になってわすれものをあまりしなくなった。せいちょうしている。
- ・1年生のころを見るとみんなや自分がかわいかったです。

1年生の頃と今の自分を比較して，できることが増えたことや体や行動面での成長に気が付いたことが出された。これまでの成長過程の中で，「どんな『すてき』があったのかな・・・」という問いを投げかけた。「保育園の頃にもあるかな?」「赤ちゃんの頃ってどんなかな?」という意見が出てきた。成長過程をおおよそ「お腹にいる頃」「生まれた頃」「1～3歳の頃」「保育園の頃」「1年生の頃」に分けて，それぞれに知りたいことや聞きたいことを考えて，今までのすてきを集めることにした。



保育所でお世話になった先生に
インタビューをしました。

しゅざいカード

2年 名前

いつのころ

しゅざいカード

書いた人 （ ）	書いたこと
書いたこと	書いたこと
なんのこ よまがす きか	カレー
こいぶんは あそびた か	1ばん
なんのあそ びがた だっただか	なんどいあそび かえがき
そのほか 教えてもらったこと	おにくとおさかながのりなにか
分かったこと・気がついたこと・かんじのこと	すえなものをカレーたすはは なかつたはず

しゅざいカード

2年 名前

いつのころ

1年生のころ

書いた人 （ひらやま先生）	書いたこと
書いたこと	書いたこと
なんのこ よまがす きか	すてきなちやうしてたけど またすまわいこといおきか はええにちやうしてた
こいぶんは あそびた か	おんねなちやうしてたから
なんのあそ びがた だっただか	ごっこ・さんぽ・生活・たいし きか・すこしおきか・おきか
そのほか 教えてもらったこと	けいせいのあそびでおいし あそびしおきか
分かったこと・気がついたこと・かんじのこと	先生といっしょにちやうして 思いました

まとめ方について

子どもたちは、国語科「お手紙」の単元で、音読劇・ペープサート・紙芝居の3つの方法で1年生にお話を紹介した。また「お話の作者になろう」では、始め・中・終わりの構成を基に、絵本を作っている。その他、図画工作科でもすごろくを作って遊ぶ経験をしている。このような経験からまとめ方を選んでいる児童がいて考えられる。

生活科の教科書に提示されている中から巻物を選んだり、カードに文を書いたり絵を描いたりする方法を選ぶ児童もいた。

3 わたしのすてきを 発表しよう

- ・すごろく（6人）
- ・カード（4人）
- ・紙芝居（1人）
- ・絵本（本）（6人）
- ・ペープサート（1人）
- ・巻物（1人）



すごろく



絵本（本）



ペープサート



紙芝居

発表の後に、質問をしたり感想を伝えたりした。また、友だちの作品を手にとって見たり、遊んだりした。



すごろく



カード



絵本

4 すてきな3年生になろう

3年生に聞いてみたいことを書き、縦割り班に分かれてインタビューをする。

内容

- ・社会や理科などの教科や、授業内容について
- ・6校時が何回あるか。どの曜日が6校時までであるのか。
- ・そうじの場所
- ・リコーダーや習字について



感想

- ・いろいろ教えてもらってうれしかったです。3年生になってもがんばりたいです。
- ・3年生にいろいろ教えてもらって、4月からあんしんして3年生になれそうです。教えてもらったので、何かおれいをしてプレゼントをあげたかったです。
- ・3年生になってもこまらなくて、ちゃんとできそうだなあと思いました。
- ・3年生はたいへんだなと思いました。

9 成果と課題

- ・これまでの学習経験を生かしながら、まとめ方にも子どもたちの思いが表れていた。最終目標が具体的に見えていない児童もいたが、グループで製作活動をしていく中で、かかわり合いながら学ぶ姿が見られた。自分の成長について、それぞれにまとめることができた。
- ・1つの単元について、先生方に実践や資料を提供していただくことで、いろいろな視点で授業を構想することができた。
- ・子どもたちの発言や記述などを子どもたちに返すようにしてきた。よりよい手立てや働きかけを学びたい。
- ・家庭の状況はそれぞれであり、配慮が必要なこともある。単元全体のねらいを明確にして授業をおこなっていく必要がある。
- ・授業の内容として、生活や出来事の交流も含まれている。子どもたちが意見や制作物を交流する場面を意図的に仕組んでいたため、評価もできればよかった。